

中1

数学

ポイント

名前 _____

立体の見方

_____ 月 _____ 日

ポイント 立体の見方(位置関係・展開図・投影図)

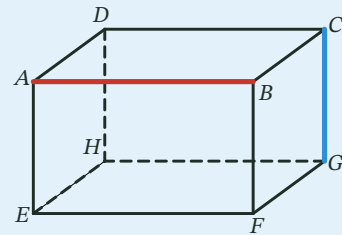
標準

空間で、交わらない2直線のうち、平行でないものを「ねじれの位置にある」という。展開図は組み立てたときに重なる点や辺を、投影図は真正面と真上から見た形を考える。

例

(1) 辺の位置関係

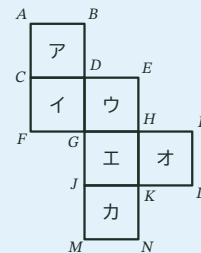
辺 AB と辺 CG は、平行でなく、交わらない。
→ ねじれの位置にある。



平行・交わる(垂直に交わる)・ねじれの位置、の3つに分けて調べる

(2) 立方体の展開図

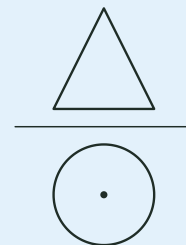
一列に並んだ3つの面の両はしは、組み立てると平行(向かい合う)になる。
重なる点は、組み立てると同じ頂点になる角。



向かい合う面は、展開図でとなり合わない

(3) 投影図

上が立面図(正面から見た図)、下が平面図(真上から見た図)。
立面図が三角形、平面図が円 → 円錐。



立面図が長方形なら柱体、三角形なら錐体。直角三角形を1回転させると円錐(回転体)

